

清古前委員長の後を引き継ぎ、今年度から公衆衛生医師の確保と育成に関する委員会の委員長になりました北海道岩見沢保健所兼滝川保健所長の山本長史です。委員長がZENHO通信の発行責任者も兼ねることになっています。社会医学系専門医制度について出来るだけわかりやすくお知らせしようと思っていますので、よろしくお願いします。

1 社会医学系専門医協会の動向について（葛飾区清古所長）

(1) 第1回専門医認定試験がいよいよ実施されます。

5月9日に試験要項が公表されました。申請期日は6月24日(月)必着です。今年度と次年度の2か年に限り経過措置が設けられ、専攻医に登録されていない方も受験が可能となっています。ただし、前年の夏に受験事前資格申請を行っていただき、社会医学系活動年数が3年間になることを確認します。

今回は専攻医の早期修了者が対象となりますが、現在、専攻医の登録をされている方や指導医の方については、試験要項を確認しておいてください。

(2) 指導医・専門医のリストが更新されました。

5月30日現在の登録者の一覧が社会医学系専門医協会Webサイトに掲載されました。都道府県を跨いで、異動された方は住所変更の届出をお願いします。各自のお名前を確認してください。指導医2,727名、専門医350名が登録されています。(参考：専攻医登録、5月末現在256名、うち行政分野は99名)

2 ブロック別指導医講習会の実施報告（東北：令和元年5月24日開催）

(講師・記録：小谷尚克 福島県会津保健所長 兼 南会津保健所長)

令和元年5月24日、ラ・プラス青い森(青森市)において、全国保健所長会主催の東北ブロック社会医学系専門医指導医講習会が開催されました。受講者は、指導医20名、指導医申請予定者1名の計21名でした。

他のブロックに先駆けての開催でしたが、内容は、一般社団法人社会医学系専門医協会の専門医・指導医認定委員会作成(清古愛弓委員長ありがとうございました。)の「社会医学系専門医制度 説明資料」に基づき全ブロック統一することとしており、本講習会に参加されている指導医の先生方には制度説明は退屈ではないか、逆に更新ルールについては関心が高くなっているのではないかなどを念頭に、福島県の状況や組織管理の分野などは指導医の裁量が大きく責任が重いと思われるといった私見も交え、またG単位取得においては積極的な学会活動が求められていることを強く訴えるなどして本制度について説明しました。

後半には、平成29年度から既に専攻医を指導されている福島県県北保健所の加藤清司所長から、専攻医の様子や研修プログラムの進捗状況、さらに、研修実施に際しては統括保健師の存在が大きいなどの御発言をいただき、単なる制度説明に留まらない講習会にさせていただきました。

最後の質疑の時間には、更新に際しての要望、疑義照会、対応相談等参加者からの発言も多くあり、これらについては、今年度から「公衆衛生医師の確保と育成に関する委員会」の委員を務めさせていただくこととなった私が、本制度運用の中核とされている先生方と連絡を取らせていただくなどして、東北ブロックの窓口となり解決につなげていきたいと思っているところです。

追伸：各県ごとの本講習会参加率は省きますが、今回、福島県は、県本庁勤務の指導医1名を除く指導医（保健所長）7名（県4名、中核市3名）が全員参加していました。夕まだ明るい津軽海峡を眺めながらこのことを振り返り、この熱心さや思いが新たな公衆衛生医師の確保と育成につながるのではないかと希望の観測を膨らませ、緩い上昇気流に浮かぶ雲のような気分で一日を終えさせていただきました。

3 全国保健所長会での取組について

(1) 指導医講習会の開催

今年度もブロック別指導医講習会が保健所連携推進会議の日に同時開催されます。全国保健所長会 Web サイト (http://www.phcd.jp/02/j_ishi/shikaku.html) に日程も書かれた申込書が掲載されています。指導医講習会は、経過措置指導医の申請には1回、経過措置指導医や指導医の更新単位として5年間で2回以上受講することになっていますので、保健所だけでなく、本庁や他の行政の指導医等への周知をお願いします。

なお、来年1月に開催予定の令和元年度全国保健所長会研修の時に実施する社会医学系専門医研修では、指導医講習会ではなく、K単位の必須受講項目である「医療倫理」に関する講習会の開催を予定しています。

(2) 都道府県保健所長会開催の更新単位講習会等について

都道府県等保健所長会が開催する必須受講項目以外の選択受講項目については5月に調査を行っています。必須受講項目のうち「感染対策」となる「2019年度結核予防技術者地区別講習会」についても5月に調査が行われています。

(3) 公衆衛生医師の確保と育成に関する委員会について

今年度も全国8ブロックからの委員で構成することが出来ました。ブロック別指導医講習会での講師や、ブロック別の情報収集や情報提供に努めて参ります。

- 顧問：内田 勝彦（大分県東部）、宮崎 親（福岡県糸島）
- 委員：北海道：山本 長史（北海道岩見沢兼滝川）、東北：小谷 尚克（福島県会津兼南会津）、関東甲信越静：武智 浩之（群馬県渋川兼吾妻）、西垣 明子（長野県松本）、東京：山本 光昭（中央区）、播磨 あかね（東京都西多摩）、清古 愛弓（葛飾区）、渡部 裕之（千代田）、東海北陸：竹原 木綿子（愛知県知多）、近畿：宮園 将哉（寝屋川市）、中国四国：村下 伯（島根県浜田）、九州：宗 陽子（長崎県県央）、西田 敏秀（宮崎市）

発行責任者：山本長史（公衆衛生医師の確保と育成に関する委員会委員長）